【シラバス】京都大学 ネイチャーポジティブスクール ～“企業のための生物多様性”を学べる短期集中講座～

20250212

第1回 自然資本とTNFDについて 2025年2月25日(火) 14:00-17:10 (会場：京都リサーチパーク 東地区1号館G会議室・Zoom)

#自然 #自然資本 #生物多様性 #TNFD #背景と経緯 #国際潮流 #TCFDメンバー #投資家目線

時間		プログラム	講師等	講演タイトル・概要
14:00-14:05	5	挨拶	京都リサーチパーク株式会社	開催にあたってのご挨拶
14:05-14:15	10	講座説明	京大オリジナル株式会社	講座開催の背景、講座の趣旨・概要、受講の注意事項
14:15-15:30	75	講義 1	秀島 弘高氏 (農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー/TNFDタスクフォースメンバー)	<p>○自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) の最近の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TNFDの背景 (どうして企業活動において自然に関する取り組みが重視されるのか) ・TNFDの検討経緯 ・4つの柱 (ガバナンス、戦略、リスクとインパクトの管理、指標と目標)、14の開示項目 ・TCFDとの共通点・相違点 ・TNFD提言の本質 (自主的な開示。義務化は近い。実践的。グリーンウォッシュとならないために。) ・国際的潮流 (欧州サステナビリティ報告基準、ISSBによる検討、義務化の展望) ・日本企業がどう対峙すべきか <p>参照：https://www.keidanren.or.jp/journal/monthly/2024/05/p26.pdf https://jicpa.or.jp/specialized_field/ITI/files/0-0-0-2-20240306.pdf https://jicpa.or.jp/specialized_field/ITI/files/0-0-0-2-20240315.pdf</p>
	10	休憩		
15:40-16:20	40	講義 2	池畑 勇紀氏 (アセットマネジメントOne株式会社リサーチ・エンゲージメントグループ 議決権行使チーム長)	<p>○投資家サイドから見たTNFDへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資家サイドがTNFDを重視する理由 (企業価値向上 (収益向上、リスク低減) の観点から) ・資産運用機関としての取り組み、そこから判明したこと ・投資家サイドが重要視する項目 ・投資家サイドから見た優れた開示事例 ・投資家サイドの期待を受けて企業はどう対応すべきか <p>参照：https://jicpa.or.jp/specialized_field/ITI/files/0-0-0-2-20240306.pdf https://jicpa.or.jp/specialized_field/ITI/files/0-0-0-2-20240315.pdf https://www.am-one.co.jp/img/company/36/sustainability_report_j2024.pdf</p>
16:20-17:05	45	質疑応答・ディスカッション	秀島 弘高氏 池畑 勇紀氏 京大オリジナル株式会社	<p>○企業価値向上に向けたディスカッション</p> <p>○受講生からの質疑応答 (事前質疑機会あり)</p>
17:05-17:10	5	事務連絡	事務局	

第2回 TNFD ～最終提言/LEAPアプローチ（概要編）について～ 2025年3月3日(月) 14:00-17:10（会場：Zoom（オンラインのみ））				
#ガバナンス #戦略 #リスクとインパクトの管理 #指標と目標 #自分ごととして #LEAP概要				
時間		プログラム	講師等	講演タイトル・概要
14:00-14:05	5	前回振り返り	京大オリジナル	第1回の振り返り
14:05-15:30	85	講義 1	大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）	○TNFDの基本から実践まで（①最終提言概要） ・TNFDの最終提言のアウトラインについて（4つの柱、14の開示項目に関する詳細） ・セクター別ガイダンスについて（参加者関連業界について数例概説）
	10	休憩		
15:40-17:05	85	講義 2	大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）	○TNFDの基本から実践まで（②LEAPアプローチ概要） ・LEAPアプローチの概要・有効性 ・ベンチマーク調査（先行事例のLEAPアプローチの実施状況について参加者の皆様の業界を中心に概説） ・準備段階のScoping（スコーピング）
17:05-17:10	5	事務連絡	事務局	

第3回 TNFD ～LEAPアプローチ（実践編）について～ 2025年3月7日(金) 14:00-17:10（会場：京都リサーチパーク 西地区4号館ルーム2A/2B・Zoom）				
#Locate（接点発見） #Evaluate（診断） #Assess（評価） #Prepare（準備） #ツール				
時間		プログラム	講師等	講演タイトル・概要
14:00-14:05	5	前回振り返り	京大オリジナル	第2回の振り返り
14:05-15:30	85	講義 1	大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）	○自然との接点の分析（Locate） ・代表的なツールの紹介（IBAT、ENCORE、Global Forest Watch、WRI Aqueduct等） ・業界別での利用状況 ・ENCORE利用方法についての解説 ・参加者の皆様におけるENCOREの分析体験 ・ENCOREでの分析結果についてのご発表
	10	休憩		
15:40-17:05	85	講義 2	大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）	○自然資本の経営への組み込み ・Evaluate（診断する） Assess（評価する） Prepare（準備する）の観点 ・自然資本に基づくサステナファイナンス ・TNFDと連動する国内施策の活用（自然共生サイト） ・自社の自然資本のあり方についての試行・ご発表
17:05-17:10	5	事務連絡	事務局	

第4回 環境負荷評価ツール“LIME3”の活用 2025年3月12日(水) 10:00-13:10 (会場：京都市リサーチパーク 東地区1号館G会議室)

#環境負荷評価ツール概要 #LIME3 #実習

時間		プログラム	講師等	講演タイトル・概要
10:00-10:05	5	前回振り返り	京大オリジナル	第3回の振り返り
10:05-10:40	35	講義 1	栗山 浩一氏 (京都大学大学院農学研究科 教授)	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の経済価値評価手法について ・環境価値評価とは (自然環境の価値を金銭単位で評価する手法) ・環境価値評価法 (代替法、トラベルコスト法、ヘドニック法、CVM (仮想評価法)、選択型実験、など) ・環境価値評価の事例 (バイオマス製品、サプライチェーン)
10:40-11:30	40	講義 2	伊坪 徳宏氏 (早稲田大学理工学術院 教授)	<ul style="list-style-type: none"> ○LIME3について ・ライフサイクル影響評価 (LCIA) とは ・LIME3概要と特徴 ・LIME3の枠組み ・他影響評価手法との比較 ・ポストLIME3 ネイチャーフットプリントの影響評価手法
	10	休憩		
11:40-13:05	90	実習	伊坪 徳宏氏 (早稲田大学理工学術院 教授)	<ul style="list-style-type: none"> ○LIME3実習 ・インベントリデータと影響評価用係数を用いた計算 ・被害評価と統合化の計算 ・結果の解釈
13:05-13:10	5	事務連絡	事務局	

第5回 先進企業に学ぶ（大企業/京大発スタートアップ） 2025年3月12日(水) 14:10-17:10（会場：京都リサーチパーク 東地区1号館G会議室・Zoom）

#先進事例 #製造業（食品） #デベロッパ #京大発スタートアップ

時間		プログラム	講師等	講演タイトル・概要
14:10-14:50	40	講義 1	泉 晶子氏（不二製油グループ本社株式会社 ESG部門 サステナビリティ推進グループリーダーシニアマネージャー）	○サステナブルな食の未来に向けた共創:不二製油グループの自然への取り組み ・パーム油のサステナブル調達 ・カカオのサステナブル調達 ・TNFD開示内容 ・質疑応答（5分程度）
14:50-15:30	40	講義 2	渡邊 博史氏（イオンモール株式会社 戦略ユニット地域サステナビリティ推進室室長 兼 イオン株式会社 地域サステナビリティ推進担当リーダー）	○TNFDに関する取り組み ～地域の環境課題解決に向けての取り組み～ ・環境に関する3つの取り組み ・生物多様性の保全「イオンの植樹活動」「まちのいきもの+（プラス）」「お客さまとともに」 ・TNFDに関する取り組み（LEAPアプローチと開示内容） ・質疑応答（5分程度）
	10	休憩		
15:40-16:00	20	講義 3	石川 奏太氏（サンリット・シードリングス株式会社 代表取締役）	○ネイチャーポジティブの科学的評価と促進 ～広域データと事業地オンサイトデータの融合～ ・サンリット・シードリングスの取り組みについて ・生態学に基づく生物多様性評価、TNFD情報開示への貢献 ・生物多様性評価ツール「Biosphere Viewer」 個々の企業の実態を正確に解析
16:00-16:20	20	講義 4	藤木 庄五郎氏（株式会社バイオーム 代表取締役CEO）	○ネイチャーポジティブビジネスの創出 ～生物多様性ビッグデータの構築と活用～ ・バイオームの取り組みについて ・生物多様性可視化サービス「BiomeViewer」 ・利用実績、利用者の声（イオンモール様、KDDI様など）
16:20-17:05	45	パネルディスカッション	泉 晶子氏 渡邊 博史氏 石川 奏太氏 藤木 庄五郎氏 京大オリジナル株式会社	○TNFD情報開示に関する現状とこれから（仮） ・TNFD情報開示を巡るステークホルダー（株主、お客様、サプライチェーンなど）の声 ・TNFD情報開示の課題 ・TNFD情報開示の今後 など
17:05-17:10	5	事務連絡	事務局	

※ HP等でご案内したスケジュール等から一部変更している部分がございます。